



芝山小だより

10月号

清瀬市立芝山小学校

校長 清水 一臣

<http://www.kiyose.ed.jp/>

スポーツの秋・芸術の秋

～子供たちの表現力と限りない可能性について～

校長 清水 一臣

台風 24 号の接近と秋雨前線により開催が危ぶまれた運動会でしたが、9 月 29 日に変更プログラムの前半部分が行われ、本日 2 日に未就学児と PTA・地域による演技を除く残りすべてのプログラムが終了しました。しかし、29 日の途中から雨が降り始めたために中断を余儀なくされ、10 月 2 日に分かれての実施となったことは、9 月当初よりこの日のために練習を重ね、お家の方や地域の方々にハシの姿を見てもらいたかった児童にとっては残念だったかと思えます。また、保護者の皆様の中にはお仕事の都合等ですべての種目をご覧になれなかった方もおられたかと思えます。天気予報を逐一確認しながら、なおかつ子供たちの健康と意欲を考慮しての判断でした。保護者・地域の皆様には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2 日間にわたっての運動会でしたが、どの種目のどの学年の児童も失敗を恐れず精一杯演技する姿が見られました。ご来賓の皆様も芝山小の子供たちの演技中の態度の清々しさに関心され、学校や学年が一つになって演技する姿を褒めて下さいました。

私も本校に着任して初めて見る子供たちの運動会でしたが、立派な態度で臨んだ開会式や準備運動、最後まで手を抜かずに走りきる短距離走、2 学年ごとの笑顔や個性があふれる表現運動、正々堂々とルールを守って戦った団体競技など、どの演技の中にもきびきびとして真面目な芝山っ子らしさを感じ、大いに感心しました。また、10 日間にわたる早朝練習を重ねた応援団は、紅組の松永莉子さんと白組の小俣遥也君の両応援団長を中心によくまとまり、会場を大いに盛り上げてくれました。

さらに、1 日目の途中から雨が降り始め、中断を余儀なくする中で、多くのお父様方がテントや椅子・机の片づけを気持ちよく手伝って下さいました。開校 66 年という地域の伝統と学校を愛してくださるお気持ちを感じました。心から感謝申し上げます。

2 学期は運動会のほかに 10 月 8 日(日)「体育の日」には市民マラソンが行われます。また、11 月には 11 日(日) 18 日(日)と市のサッカー大会が行われます。芝山小の子供たちも参加し、その活躍が期待されます。

芸術面では、10 月 28 日(日)に、石田波郷俳句大会が行われます。今回、芝山小では次の皆さんが入賞しました。おめでとうございます。

【特選】「平成と 書ける最後の 夏休み」(6年 北崎 遥 さん)

「夏空に 青いジェット機 羽田発」(6年 竹内 初音 さん)

【入選】「風りんの しっぽが風におどってる」(4年 三浦 美桜 さん)

「サングラス おとなのかおに へんしんだ」(2年 高橋 知花 さん)

「あまのがわ ほんとのかわなら こぼれそう」(1年 佐藤 桐子 さん)

どの句も子供らしいみずみずしい感性にあふれ、目の前に風景が浮かんでくるようです。このような感性と表現力をより一層伸ばしてくれることを願っています。

学校では今後もスポーツや芸術などの様々な機会を生かしてチャレンジし、個性を開花させ可能性を伸ばす教育を推進してまいります。引き続き保護者や地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。